（調査様式１）

１．　自己評価及び外部評価結果

作成日　平成２５年１２月１２日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4690200102
法　人　名	特定非営利活動法人 こしき風林火山
事 業 所 名	グループホーム 多喜人
所　在　地	鹿児島県薩摩川内市里町里470番地 （電 話）09969－3－2127
自己評価作成日	平成25年11月13日

※事業所の基本情報は，介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	ＮＰＯ法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ケ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年12月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

　薩摩半島の西方に位置する甑島。この手つかずの自然が残る甑島の里町。里町の中でも有名な観光名所である武家屋敷通りの中に当施設がある。利用者は非常に静かな環境の中、落ち着いた生活を送ることができる。
　地域特性上、昔からのなじみの方々が近隣に多くおられるため、利用者の孤立性は軽減できていると考える。外出時も地域住民より度々声を掛けられ、昔話に花を咲かせたり、住み慣れた地域の中で生活している実感を利用者は持つことができる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点，工夫点（評価機関記入）】

・当事業所は、甑島列島の入り口に位置する自然豊かな環境で、静かな住宅地の中にある。

・甑島唯一のグループホームである。自治会に加入し、地域の行事にも積極的に参加している。地域住民の介護に関する相談を受け、助言などをしたりして、認知症対策や介護支援の情報発信の場となっている。また中学生の職場体験の受け入れもしている。

・災害対策として定期的に避難訓練や、原発事故や地震を想定した津波避難訓練も実施している。訓練には、運営推進委員も参加している。災害時に関する地域マップも作成計画中である。

・個々の利用者の生活歴や生活環境などを把握し、力量に応じて、その人らしい生活ができるような支援に取り組んでいる。

・代表者や管理者の職員が働きやすい環境作りに配慮し、職員はケア対応力のさらなる向上を目指して研鑽している。

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内で一番目につくところに掲示しており、職員会議等にて共有している。	理念は事業者内に掲示し、朝礼時や職員会議などで振り返り、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。職員間での申し送り帳類にも記入して実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当該自治会（村西自治会）にも加入しており、近隣住民との関わりは非常に多い。また、地域行事にも可能な限り参加している。	自治会に加入し、地域の行事に参加し、散歩や買物に出かけた時に挨拶や会話を交わしたりしている。中学生の職場体験も受け入れ、事業所の行事に知人や家族を招き、交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	日々の業務の中で理解している範囲でおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員も利用者を昔から知っておられる方が多く、利用者を自分の家族のように考えておられる。	行政や駐在所・消防分団・民生委員・地区組合長・家族代表等の参加を得て、定期的に開催している。外部評価結果報告や事業所の状況や現在取り組んでいる内容などについて、意見交換が行われている。津波避難訓練や火災消火作業について、会議での提案を活かしている。地域マップの作成も計画されている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り，事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取り組んでいる。	薩摩川内市役所里支所が近くにあり、足を運ぶことが多く、その際に情報交換等おこなうことができている。	支所とは日頃から連携関係ができている。認定更新の機会や、健康管理部会、「川薩・出水グループホームの会」に参加して情報を交換し、アドバイスをもらうなど連携に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束をおこなわないケアを全職員で確認し、対応している。	身体拘束廃止委員会を設けて、マニュアルを基に勉強会を行って、職員の共有認識を図っている。昼間は玄関の施錠をせずに、職員間の連携で見守りに努め、安全で自由な暮らしを支援している。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待についても、身体拘束廃止委員会の中で取り組んでおり、虐待防止を正しく理解し、対応している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護・成年後見制度についてはまだまだ理解は浅い。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所申込み時は原則本人、ご家族に直接来園していただき、施設見学、重要事項説明後記入していただいている。入所時においても再度重要事項説明をおこなったうえで契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置しているほか、ご家族面会時や自宅訪問、電話連絡時等に随時確認するようにしている。	利用者とは日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。家族とは面会や行事参加時に良い機会として話を聞いている。月1回は家族へ状況報告し、遠方の家族には電話やメールも利用している。出された意見、要望等は職員で話し合い反映させている。玄関に意見箱もある。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の朝礼時、毎月の職員会議を中心に意見交換をおこなっている。	職員は気づきなどメモし、職員会議時に職員の意見や気づきを聞く機会を設けている。その反映を図るよう心がけている。管理者は相談事は個別に聞き適切にアドバイスしてる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務に対する姿勢を評価し、賞与にて反映するようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	離島ということもあり、また、職員数の問題もあり、十分な外部研修がおこなえていないが、できる範囲でおこなっている。また、外部講師を招き、施設内研修をおこなっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	最近では、甑島内での研修の機会も増えてきており、できる限り参加してあり、同業者との交流の機会も増えてきている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前より関係は始まっおり、事前訪問やコミュニケーションを通してなるべく環境変化、精神的変化の緩和につとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前より利用者についての環境面や身体面、精神面を多く把握し、入所後の環境整備につとめている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申込みの段階で、その他のサービスについての説明を併せておこなっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員の都合で生活リズムが決まらないよう注意し、個々の利用者の希望や意志を確認し、できる限り対応している。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への状況報告はこまめにおこなうようにしている。また、ご家族が遠方在住の場合は、毎月文書による状況報告や電話連絡をおこなっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物や美容室など、馴染みの場所でおこなえるよう対応している。	入所時にこれまでの生活歴や習慣を聞き把握している。行きつけの温泉や美容院・商店・知人・友人との継続的関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が自室に閉じこもることがないよう、茶話会やレクリエーション等、交流の場を多く設けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の状態確認、面会等は随時おこなっている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所前の事前訪問や入所後に本人の意向等を確認し、対応できるようにしている。	家族や馴染みの訪問者からの情報を得ながら、日々の関わりの中で様子を観察し、言葉や表情などから希望や意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	大きな環境変化がないよう、事前調査を重要視している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状を確実に把握・理解し、利用者の生活リズムの把握につとめている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の職員会議やサービス担当者会議等において検討している。	本人や家族の意向を汲み取った上で､職員会議等で職員全員でカンファレンスをし、介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価 実施状況	外部評価 実施状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を作成、記入し、情報共有を図るとともに、職員間での申し送り帳を作成、記入している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設内サービスの柔軟化には取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	当地域の最大の特徴ともいえる地域とのつながりを大切にし、地域行事への参加などおこなっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけ医を入所後も継続し、往診対応していただいている。受診も事業所にて対応している。また、かかりつけ医の変更希望にも柔軟に対応している。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を、事業所で対応している。また、往診を依頼することもある。2週間に1回、協力医療機関からの往診もあり、連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者に状態変化がみられた場合はすぐに看護職員へ連絡・報告し、看護職員により受診の対応やご家族への連絡等おこなっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院となると、島を離れ本土医療機関への入院となる。入院後は入院医療機関との密な連携、随時の面会などを通し、スムーズな退院・再入所につとめている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者本人やご家族の意向を十分に確認することにつとめている。	重度化や終末期に向けて、契約時に事業所が取り得る対応について、本人や家族に説明している。また、状況変化に従って繰り返し話し合い、意思を確認している。研修会に参加したり事業所内で勉強会を実施し、職員全員で話し合っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルなどにより、慌てることなく確実に対応できるよう、職員会議等で随時確認している。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練の実施や、町がおこなう津波避難訓練への参加もおこなっており、近隣住民に協力をいただきながらおこなっている。	消防署の立ち会いで昼夜間想定の避難訓練や原発事故や地震を想定した津波避難訓練を実施している。スプリンクラーやその他の防災設備も設置されている。緊急連絡網に地域住民も登録し、協力体制が築かれている。災害時の備蓄も確保している。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員と利用者、そのご家族が昔からの知り合いという場合が多い。そのことにより、利用者・ご家族への言葉掛けも馴れ合いになってしまう場合があるため、随時再確認している。	利用者の人格を尊重し、さらにプライバシーを保持する言葉かけや対応に取り組んでいる。 日々の関わりの中で、トイレ誘導時などはさりげなくケアし、日常の支援では馴れ合いにならないように留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意向や要望に早く気付くことができるよう、毎日のコミュニケーションは重要として捉え、対応している。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムを大事にするようにはしているが、どうしても職員の都合により決まってしまうことがある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己決定が困難な利用者については、職員が確認しながらおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	地元の食材を多く使用し、家庭的なな食事を提供するようにしている。また、好き嫌いの把握を徹底するようにしている。	嗜好に配慮した献立に努めている。利用者の個々の力を活かし、調理などに楽しく参加している。行事食や弁当を作ってピクニックに行ったり、晩酌など食事が楽しみなものになるよう工夫している。口腔ケアも大切な日課となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の記録を確実におこない、全職員で共有している。また、医療機関やご家族への情報提供にも活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者が毎食後確実に口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンの把握につとめ、トイレ誘導等おこなっている。	個々の排泄パターンを把握し、自尊心に配慮しながら、トイレでの排泄を大切にしている。 ヨーグルトやオリゴ糖等で食生活を工夫し、自然排便に取り組み、排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳や食物繊維などの摂取、適度な運動等を通して、なるべく緩下剤を使用しないケアにつとめている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴したい時間帯や曜日を確認し、なるべく希望に沿えるよう対応している。	個々人の希望に合わせた入浴ができるように支援している。入浴を拒む人にも入浴剤をつかったり、声かけに工夫するなど、職員間で連携し、清潔保持に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	熟睡できない利用者が多いため、必要に応じて巡視回数を増やしたり、コミュニケーションを図ったりと、不安軽減につとめている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成しており、薬の種類や効能を明記し、把握したうえで対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	集団的レクリェーションと併せて個別的レクリェーションにも取り組んでいる。また、外出しての茶話会や個別的な外出も対応している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	駐車場の一角に畑をつくっており、野菜を栽培していただいている。また、敷地外においては、馴染みの美容室や商店への買い物、自宅訪問等、可能な限り対応している。	日常的には周辺の散歩や畑を見に行ったり、買物や馴染みの美容院など、できるだけ戸外に出かけている。また、計画を立てて、花見や梅ちぎり・ドライブ・自宅訪問などの外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	半数以上の利用者がお小遣い程度のお金を自分で管理しており、買い物等おこなっている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話や手紙等、希望により柔軟に対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	特に「匂い」を重視し、毎日の清掃に取り組んでいる。また、季節を感じていただけるよう、飾り物を工夫している。	共用空間は、天井が高く、廊下も広い。換気や採光、温度・湿度に配慮し、掃除が行き届き、清潔で明るい。ホールには、利用者と職員が一緒に作成した季節行事の飾り付けが展示してあり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭いスペースではあるが、ソファーやテーブル等を設置し、憩いの場を多く提供できるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはなるべく慣れ親しんだ家具等を設置していただいている。また、希望者には畳敷きも対応している。	居室には、本人が使い慣れた家具や置物・写真や家族の思いが伝わる物が持ち込まれている。各居室ともに加湿器が置いてあり、居心地よく過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は全てバリアフリーとなっており、移動などがスムーズニ安全におこなうことができる環境となっている。		

Ⅴ アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 （参考項目：36,37）		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 （参考項目：49）		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：30,31）		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 （参考項目：28）		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は，活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない